

2007(平成 19)年度 基本事業目的評価表

基本事業名 11201 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

主担当：生活・文化部男女共同参画・NPO室 室長 亀井 敬子

電話：059-224-2225

基本事業の目的

県民、市町、県が、男女共同参画社会の実現に向けて協働で取り組んでいます。

各種データ

目標項目	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	目標達成状況
	下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	上：目標値 下：実績値	
県の審議会等のうち男女のバランスがとれた構成の審議会等の割合	49.4%	53.6% 56.3%	54.8%		57.3%	1.00
男女共同参画を推進するための基本計画等を策定している市町の割合	58.6%	65.5% 65.5%	69.0%		75.0%	1.00

	2006	2007	2008	2009	2010
予算額等(千円)	90,201	99,762	105,633		

2007年度の取組概要

三重県男女共同参画推進条例及び三重県男女共同参画基本計画に基づき、三重県男女共同参画審議会が男女共同参画施策の推進に対する評価を行い、2008年度に知事へ提言を行うための中間案を作成しました。また、県の男女共同参画施策の実施状況について年次報告をまとめ、議会に報告するとともに県民に公表しました。

県の審議会等のうち男女のバランスがとれた構成の審議会等の割合を増やすため、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき庁内に働きかけ、女性委員の登用促進を図りました。

2007年3月に改訂した男女共同参画基本計画を着実に推進するため、2007年10月に第三次実施計画(2007年度～2010年度)を策定し、全庁的な取組を進めました。

男女共同参画に関する市町の取組を促進するため、市町担当職員を対象に研修会を開催するとともに、基本計画未策定町を訪問し、啓発事業の実施や広報協力等、県の支援メニューを提示して、事業実施について聞き取りを行いました。

重点的な取組として女性等のチャレンジ支援について事業を推進しました。女性の就業

を始めとする社会参画の促進に向け、総合的な支援を行う拠点施設として2007年6月に「みえチャレンジプラザ」を四日市市に開設し、チャレンジ相談や情報提供、専門機関の紹介など個人の状況に応じた支援を行うとともに、就職を希望される場合は国のマザーズサロンと連携して支援を行いました。

また「三重県チャレンジ支援推進会議（みえチャレンジネットワーク）」を設置し、情報共有や意見交換、シンポジウムの開催などを行いました。さらに、チャレンジサポーターを養成し、地域におけるチャレンジ支援の普及や男女共同参画を推進するキーパーソンとして情報収集や情報提供などの活動を展開し、県内でチャレンジ支援を行っている機関の情報や身近な女性のチャレンジモデルを紹介する事例集の発行やインターネットで情報を提供する「みえチャレンジサイト」の開設などにより、女性のチャレンジの気運を醸成しました。

評価（成果や課題、その要因）

附属機関の見直しに合わせ、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」を定め、庁内に理解と協力を働きかけたところ、附属機関の委員選任について男女の委員のバランスのとれた審議会の割合が増え、今年度の目標を達成しました。

市町との連携・調整により条例制定や基本計画策定などが進み、多気町といなべ市で条例が制定され、いなべ市と川越町で基本計画が策定されました。

個人の状況に応じた支援やネットワークでの活動、地域におけるチャレンジサポーターの活動などにより、女性のチャレンジ支援の気運の醸成がはかれました。

2008年度の取組方向

三重県男女共同参画審議会において、2007年度に引き続き県の男女共同参画施策の推進状況を調査し、評価・提言をとりまとめ、知事への提言を行います。

第三次実施計画の着実な推進をはかるため、年次報告等による進捗管理や男女共同参画審議会からの評価・提言の活用をはかります。

地域における男女共同参画の取組を促進するため、市町が必要とする情報の収集・提供に努めるとともに、基本計画未策定町との連携・協働による取組を進め、基本計画策定に向けた支援を行います。

女性のチャレンジ支援について、引き続き各事業の充実を図るとともに、「みえチャレンジサイト」において迅速、積極的な情報提供を行います。

構成する事務事業

事務事業名	事業目的	予算額等 (千円)
A 男女共同参画連絡調整事業 男女共同参画・NPO室	三重県男女共同参画審議会による外部的な評価を実施することにより、効果的な施策展開につなげます。また、年次報告を作成し、施策の実施状況を公表することにより、広く県民に情報提供を行うとともに、各部局に対し働きかけていきます。 市町における基本計画の策定を促進するため、研修など必要に応じた支援を行います。 三重県男女共同参画推進会議等を開催することにより、庁内の連携を深めるとともに、内閣府や他県との連携交流により、さまざまな情報の収集およびノウハウの修得に努めます。	3,844
B(重)チャレンジ支援ネットワーク事業 男女共同参画・NPO室	女性のチャレンジを支援する取組や事業を行っている機関や団体が、女性のチャレンジを支援する情報や資源を持っていても、女性のチャレンジ支援につながる取組や事業であるということを意識せず、それぞれが連携なくばらばらに事業展開しているという状態を、支援情報等を一元化し、集約・情報共有することにより、連携・協働して、女性のチャレンジを支援する取組を推進しているという状態にします。	3,470
C(重)チャレンジ支援センター事業 男女共同参画・NPO室	意欲や能力のある女性や高齢者が、就業をはじめとした社会参画に踏み出すことにより、地域社会の活性化や一人ひとりが豊かさを感じられる社会づくりをすすめます。	16,496
D(重)チャレンジサポーター連携事業 男女共同参画・NPO室	地域における女性、地域社会が、チャレンジしたい人の力が十分に活かされておらず、また地域経営の観点が乏しいという状態を一人ひとりの人間力を引き出し、地域力を高め、地域における男女共同参画社会の実現につながっているという状態にします。	1,293
E 男女共同参画センター管理運営 文化振興室	男女共同参画社会の実現に向けて、県民、市町と協働で取り組むため、三重県男女共同参画基本計画の趣旨に沿った男女共同参画センターの管理運営を行います。	74,659
F 教職員研修事業(再掲) 研修指導室	・県内の公立の幼、小、中、県立学校教職員が、子どもたちに「生きる力」を育成していくために教科の基礎・基本を重視した学習方法や生徒指導等の今日的課題の解決方法について実践的指導力を身につけています。	70,070
G 人権相談事業(再掲) 人権センター	生活上で生じる様々な人権問題を抱える県民からの相談に対して適切に対応出来るように、相談機関相互の連携がはかられ、一人ひとりの悩みや問題について、個人情報が多量に配慮されつつ、身近で相談者の立場に立った相談が受けられるように取り組んでいます。	8,592
H 人権研修事業(再掲) 人権センター	人権施策を推進していくためには、「人権県宣言」「人権が尊重される三重をつくる条例」などの趣旨に沿って社会全体で取り組むことが重要です。 当該事業は、民間企業などにおいて企業が自主的に人権の研修に取り組んでいただけるよう、研修用教材を作成します。	1,315
I キャリアステージ研修費(再掲) 職員研修センター	新規採用職員及び新たに昇任又は一定年齢に達した県職員が、県職員として必要な知識、能力を有している。	26,163
J 人事管理事務費(再掲) 人材政策室(総務)	人材育成を支えるしくみとして、能力や実績に基づく人事システムの整備を進めるなど、組織力の向上に向けて、県職員一人ひとりが、その意欲と能力を最大限に発揮できる環境づくりを行う。	55,342